

総合評価

受診施設名	いずみ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成19年11月19日

総 評	<p>京都市伏見区の向島ニュータウンに隣接する宇治市槇島町に昭和58年に設立されたいずみ保育園は、京都市伏見区の白菊保育園、城陽市の白鳥幼稚園と同系列の保育園です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るく生き生きとした子どもを育てる。 ・養護と教育が一体となって、優しく素直で思いやりのある子どもを育てる。 ・子どもの持っている素晴らしい可能性をのばし、その発達を助け創造性を養う。 ・健康安全で幸福な生活のために必要な生活習慣を身につけ、身体機能の調和的発達をはかる。 ・集団生活の中で秩序を守り協同自立の精神の芽生えを養う。 <p>という方針のもと、体操、絵画、音楽に力を注いでいます。また、卒園児の小学生低学年の学童保育、在宅育児家庭への園庭・図書室の開放、育児相談などの地域活動事業に取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<p>園長は保護者、地域の福祉・保育ニーズに応えるとともに、自らの役割を適切に果たし保育園全体をリードしています。</p> <p>職員も意欲的で行動力があり、そのことが保育実践と職員の資質の向上に反映されています。</p> <p>家庭との連携においては家庭訪問を継続的に実施するなど、入園児の身体状況、生活状況等の把握に努め保育を行っています。また、利用者のプライバシー保護等の環境整備、研修を実施しています。</p> <p>関係機関との連携においては、宇治市民間保育園連盟に所属し、適切かつ組織的に実施しています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>保育園の事業計画、標準的な保育実施方法、職員が情報を共有するための報告書等の整備は進んでいますが、さらに活用方法を工夫し、全職員への周知、共有化を図るとともにPDCAサイクルに沿って、より組織的に取り組まれるとよいでしょう。</p> <p>子どもの個人記録、発達記録などは、記録の均一化に向けて、書式やマニュアル等を整備・工夫することによって改善されることでしょう。</p> <p>環境整備・安全管理については、乳児の保育環境、遊具の配置等の見直し、改善を工夫することでいっそう充実が図られることでしょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	いずみ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年11月19日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

【自由記述欄】

理念、保育基本方針は明文化され保護者、職員に「保育のしおり」が配布説明され、おおむね保育に生かされています。園長のリーダーシップの元、職員会議、リーダー会議等で保育の見直しや伝達、意見交換が行われています。事業計画については、さらなる充実を期待します。保育計画については、地域の実態、ニーズの把握、研究により、取り組まれることでさらに充実することでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	C
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	B	

【自由記述欄】

本部園との連携や理事長の指導力、園長のリーダーシップに基づき人事管理体制の整備が進められています。職員個別の研修計画を策定し計画的・組織的に人材育成することが望まれます。さらに職員の就業状況や意向の把握をすすめることで、就業意欲の向上や職場環境の改善が図られることでしょう。本部園で実施されている人事考課を、当園でも基準を明確に示し、結果を職員へフィードバックする等、具体的な方策によって、客観的、透明性の確保に取り組まれることが望まれます。ボランティアの受け入れ、地域福祉活動は実施され記録しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	C	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	C	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

保育の質の向上についてはPDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルに沿って、より組織的に取り組まれることを望みます。また、標準的な実施方法の文書化と定期的な見直しが行われると、なおよいでしょう。一人ひとりの子どもについて発達状況の把握、記録などについても、マニュアルを整備されるとなおよいでしょう。終礼ノート・早出ノート等日々の連絡引継ぎに関しては、工夫が見られるとともに、細やかに記録しています。家庭訪問を継続的に実施し、入園児の身体状況、生活状況等の把握に努め、保育に反映しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	いずみ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年11月19日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	B
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	B
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

一人ひとりの保護者と情報交換が行われ、その内容は記録が残されています。
 保育計画は、子どもの発達段階に合わせた体系化と地域の実態を反映することでさらに充実することでしょう。
 潜在的な利用者や地域に向けて、保育内容等の情報発信を積極的に実施しています。
 訪問調査当日には「給食試食会」を実施されており、普段の給食を紹介、試食してもらうという取り組みは、参加保護者からも高評価の意見が多数ありました。今後は残食の調査記録や検食簿のまとめ、食器の素材や形などに配慮されれば、食育、食生活の更なる充実につながるでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	B
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	B
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

子どもたちが安心して生活し、遊ぶことができる配慮が随所に見られました。一方で、遊具の配置や整備の必要な箇所が見受けられました。今一度、机や椅子のサイズなど、乳児の保育環境を含めた環境全体を再点検されるとよいでしょう。子どもたちの豊かな生活・遊びの場としての「落ち着く居場所」作りへ着眼することで、さらなる充実が図られることでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

保護者とのきめ細やかな連携と子どもの生活状況の把握を目的として家庭訪問、懇談会など実施しています。給食(おやつ)の配膳、片付けは子どもが主体的参加・協力(お手伝い)して行っています。衛生管理マニュアルを全職員に周知し適切な実施を行うことでこれらの取り組みがさらに充実・発展するでしょう。